

# き お う

登録番号：第3947号

登録年月日：平成6年3月14日

登録者：岩手県（岩手県盛岡市内丸  
10-1）

育成者：伊藤明治 藤根勝栄

小野田和夫 佐々木仁

田村博明 鈴木 哲

三浦晃弘

来歴：「王林」と「はつあき」の

交雑実生

## 特 性

### ■栽培特性

若木時代の樹姿はやや直立性を示し、「王林」に似て斜立枝の発生が多いため、側枝の誘引により花芽の着生を促すとともに、樹冠の拡大を図る必要がある。結実が多くなると樹勢は落ち着き中程度となる。短果枝の着生は良好で、花芽の着生も良いことから早期結実性であり、豊産性である。受粉和合性は、「はつあき」で交配不和合性がみられる他、「つがる」がやや不和合性を示す。「ふじ」、「王林」、「さんさ」などの主要品種とは和合性である。自家結実性は低い。

熟期は育成地で9月上旬に成熟する早生の黄色品種であり、「つがる」、「さんさ」とほぼ同時期に成熟する。早期落果および心かびの発生は少ない。成熟期近くになって急激に果実肥大が進むような栽培条件下では、梗あ部周辺の果肉内部に裂果が発生することがあるため、土壌の乾湿の変動を少なくするような栽培管理が必要である。収穫前落果は裂果した果実を主体に発生がみられる。

### ■果実特性

平均果重は280g～300gであるが、400gを越す場合もある。果肉は白色～黄白色であり、果汁が多い。蜜入りは無～僅少である。果実の地色および果皮の色は黄色で、陽光面は少し赤褐色に着色する場合がある。果梗の周囲にわずかに緑色部分が残る。さびの発生は少なく、外観は美しい。糖は14%（屈折計示度）、酸は0.3%（滴定酸）と、甘酸適和で、食味が優れている。適熟期が過ぎると酸味が減少し甘酸のバランスが崩れるので酸味が残っているうちに収穫する。また、大玉果実では食味が淡白となり果肉硬度も低下するので、中玉生産に努める必要がある。収穫期の判断は地色で行い、「ゴールデンデリシャス」用のカラーチャートを使用する場合は地色指数2～3の、がくあ部周辺に若干青みが残っている頃が収穫の目安である。岩手県下では満開日計算で125日～135日である。果実の貯蔵性は普通貯蔵で3週間前後、冷蔵貯蔵では1か月以上と、早生種としては日持ち性に優れる。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の注意点

斑点落葉病に対して抵抗性の弱い「スターキングデリシャス」よりは強く、抵抗性中位の「ふじ」よりやや弱い。他の主要病害に対しての抵抗性は中とみられ、通常の防除で特に問題はない。

### ■地域適応性

早生種としては日持ち性に優れている。収穫期が盛夏となる西南暖地においても品質良好な果実が生産されることから、適応範囲は比較的広いと考えられる。

本種の栽培は現在のところ岩手県内のみで、面積は平成10年度の植栽面積は約60ha、高接ぎ更新を含めた面積は100ha前後である。

（小野田和夫）